

独立役員届出書

1. 基本情報

会社名	株式会社イズミ		コード	8273
提出日	2024/5/9	異動（予定）日	2024/5/29	
独立役員届出書の提出理由	独立役員である米田邦彦氏が、任期途中（2024年5月29日付）で社外取締役を退任することに伴い、定時株主総会において社外取締役の選任議案が付議され、新たに矢野泉（本名：谷口泉）氏を独立役員として指定するため			
☒ 独立役員の資格を充たす者を全て独立役員に指定している（※1）				

2. 独立役員・社外役員の独立性に関する事項

番号	氏名	社外取締役／社外監査役	独立役員	役員の属性（※2・3）													異動内容	本人の同意
				a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	該当なし		
1	西川 正洋	社外取締役	○													○		有
2	青山 直美	社外取締役	○													○		有
3	堀川 智子	社外監査役	○													○		有
4	岡田 弘隆	社外監査役	○													○		有
5	矢野 泉 (本名：谷口 泉)	社外取締役	○													○	新任	有

3. 独立役員の属性・選任理由の説明

番号	該当状況についての説明（※4）	選任の理由（※5）
1		広島を拠点としグローバルに自動車用部品等を製造販売する西川ゴム工業(株)の代表取締役会長として、企業経営に関する豊富な経験及び実績を有しており、当社は業種の異なる製造業の分野において、同氏がこれまでに培ってきた企業経営者としての豊富な知見及び経験等は、当社の品質管理や生産性向上等に資するところが大きく、社外取締役として当社の業務執行を監督する適切な人材であると判断しています。同氏と提出会社との人的関係、資本的关系又は取引関係その他の利害関係はないものと判断しています。また、社外取締役としての職務を遂行するにあたって、一般株主と利益相反がないと判断されるため、独立役員として指定しています。
2		(有)スタイルピズを設立し、Eコマース等のコンサルタント業を営み、消費者目線のマーケティングにおいて数多くの経験を有しており、業務執行を行う経営陣から独立した客観的な立場から意見や助言をするとともに、その豊富な経験と知見をもとに持続的な企業価値の向上を目指す当社の中期経営計画の中で、特に、デジタル投資戦略、ダイバーシティ及びSDGsの推進や事業におけるESG視点の意見・提案をしており、社外取締役として当社の業務執行を監督する適切な人材であると判断しています。同氏と提出会社との人的関係、資本的关系又は取引関係その他の利害関係はないものと判断しています。また、社外取締役としての職務を遂行するにあたって、一般株主と利益相反がないと判断されるため、独立役員として指定しています。
3		大手監査法人勤務により公認会計士としての経験を積み、その後、家業の中国木材(株)入社後は経営に係る重要な部署の役員を歴任し、現在は代表取締役会長を務めています。会社経営者と会計の専門家としての高い見識を有しており、その知識と経験に基づき、当社監査体制の一層の強化を図るための有用な助言や提言が期待できることから、当社の社外監査役としての職務を適切に遂行できると判断しています。また、社外監査役としての職務を遂行するにあたって、一般株主と利益相反がないと判断されるため、独立役員として指定しています。
4		国税局の重要な部署の責任者を歴任した後に退職し、現在は税理士として活躍しています。社外監査役となること以外の方法で直接会社経営に関与した経験はありませんが、税務の専門家としての幅広い業務経験と専門的知識を有しており、その知識と経験に基づき、当社監査体制の一層の強化を図るための有用な助言や提言が期待できることから、当社の社外監査役としての職務を適切に遂行できると判断しています。また、社外監査役としての職務を遂行するにあたって、一般株主と利益相反がないと判断されるため、独立役員として指定しています。
5		広島修道大学学長として大学運営に広く携わり、組織運営に関する豊富な経験と幅広い人脈を有しております。広島信用金庫の理事となること以外の方法で会社経営に直接関与した経験はありませんが、学術研究の傍ら、各地域の中央卸売市場運営に係る委員を歴任するなど、農水産物を中心とした食の流通について造詣が深く、食の安全性や食品廃棄物の再資源化等についての豊富な知見及び経験等は、当社の品質管理の向上や食を鍵とする今後の事業発展等に資するところが大きく、社外取締役として当社の業務執行を監督する適切な人材と判断しています。同氏と提出会社との人的関係、資本的关系又は取引関係その他の利害関係はないものと判断しています。また、社外取締役としての職務を遂行するにあたって、一般株主と利益相反がないと判断されるため、独立役員として指定しています。

4. 補足説明

※1 社外役員のうち、独立役員の資格を充たす者の全員について、独立役員として届け出ている場合には、チェックボックスをチェックしてください。

※2 役員の属性についてのチェック項目

- a. 上場会社又はその子会社の業務執行者
- b. 上場会社又はその子会社の非業務執行取締役又は会計参与（社外監査役の場合）
- c. 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役
- d. 上場会社の親会社の監査役（社外監査役の場合）
- e. 上場会社の兄弟会社の業務執行者
- f. 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者
- g. 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者
- h. 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家
- i. 上場会社の主要株主（当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者）
- j. 上場会社の取引先（f、g及びhのいずれにも該当しないもの）の業務執行者（本人のみ）
- k. 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者（本人のみ）
- l. 上場会社が寄付を行っている先の業務執行者（本人のみ）

以上のa～lの各項目の表記は、取引所の規則に規定する項目の文言を省略して記載しているものであることにご留意ください。

※3 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」を表示してください。近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」を表示してください。

※4 a～lのいずれかに該当している場合には、その旨（概要）を記載してください。

※5 独立役員の選任理由を記載してください。